とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1部50円1カ月150円1カ年前納1,500円

議会答弁には責任を

陸別町議会

佐々木四郎

暮の第四回陸別町議会での一般質問の主な内容はつぎのとおりでした。

寺尾議員　失業保険を町内で支給できるようにすべきでないか　町立病院の現在の医師がやめると経営は困難となる、考え方はできていると思うが、構想はどうか

杉田町長　職業安定所は再就職のあっせんが本来の仕事で、失業保険の町内支給は廃止となったが運動したい、町立病院については特別委員会に敬意を表する腹案はあるが医師の問題もあり発表をさし控えたい

寺尾議員　議会で約束したことが表明できないのではなにを相手に議論するのか、微妙な点までふれなくてもよい、大まかなところでよい

杉田町長　今日は発表できない

矢鋪議員　議会での答弁には責任をもつてもらいたい、三月、六月、九月の一般質問をどう執行したか、北勝光生会への補助十万円はどう使ったか、畜産センター職員の交通事故は公務として減給一カ月の罰則をうけながら被害者に二十五万円を支払つているのに、水道課の職員が札幌へゆき事故をおこしたのに二千円の見舞金を出している、諮問機関の総合開発審議会や振興対策委員会をどう活用しているのか

杉田町長　議会答弁への責任は当然もつ、自動車事故の見舞会の件は欠けていて申しわけない、水道課の事故は警察の方で取調べ中でハツキリした段階で処置したい

佐々木助役　振興対策委員会は山振法の計画で十八日に諮問しており、総合開発審議会の基本構想は議決事項だが、こんご年度割、金額割は委員会を活用してゆきたい

峰田民生課長　北勝光生会は委員の会合により道の認可をすすめている

矢鋪議員　三月には国鉄合理化にたいする足を守る会、六月には電話の助成について、九月は特殊農産物の振興、中学校敷地の取得結婚相談所についてである

公務罰則であれば町の責任で補償となる、総合開発審議会は任期二年をすぎている、北勝光生会へ丸がかえの補助はあり得ない

杉田町長　国鉄合理化反対の件は陳情をつづけ足を守る会の準備会が流れ改めて努力する、電話の件は設置者から回答がない、特殊農産物の振興やニジマスなどの研究をすすめ検討中である、結婚相談所の件は道の農業会議の動きとにらみ合せとりくみたい、自動車事故の件は考えてゆきたい

中学校敷地の問題は現在話しを中断したままである

佐々木助役　任期切れの点事務的に申しわけない

林議員　町職員の住宅をふやす考えはないか、六十五才以上の老人三才未満の乳幼児の医療無料化を実現すべきでないか、PT会費の公費負担をなくすべきではないか

池尻議員　七十才はすでに限界にきており、〇才から三才へ年次計画でやるべきでないか

杉田町長　職員住宅について持ち家制度を内部的に検討しており、共済組合からの借り入れに町が利子補給を考えたい、六十五才以上、三才児以下の医療無料化は積極的に前向きに検討中である

徳光教育長　PTAの負担軽減につとめているが、いまなおあり、さらに努力したい

高橋誠議員　職員を他町村で研修させ進歩をはかる考えはないか

杉田町長　他町村との交流は難しい点もあるが、研修所へ二名参加させるが新年度はさらに充実させたい

高橋議員　考えるだけでなく実施するとして予算づけするか

佐々木助役　自治講習所へ二名を年度末までに出す道との交流はあるがあまり成績はあがつていない、水道課の職員が東京で研修した

高橋議員　適当な時期に派遣は不可能なのか、町として職員の定数がすくないからでないか、条例の定数をおいていない、仕事に追われて考えるのは難しいという、町有林問題など二度とくり返さないために人員の雇傭を考えるべきではないか

杉田町長　町職員の定数は最少の人員で最大の能力をあげることに変らないが事務量も多く充分検討をはかりたい

遊休工場の活用

早坂議員　地場産業の育成と新しい木材産業の開発について小経木、カラマツの専門工場、遊休工場の活用の考えはないか、民有林からの材がそのまま外へ出てゆくので、これができれば過疎の歯止めとなる、要請をうけて予算化する考えがあるか、し尿処理について北見方面からくる人は非常に臭いという、大量のし尿がはこばれて黄害をまきちらしているが、こんごどうするのか、生活保護世帯はどうなつているか、精薄者など他へどのくらいいつているか

杉田町長　地場産業の育成や遊休施設の活用について林業の町でありとりくみたい、カラマツの供給量はどうかつかんでいないが、原木が不足をきたしており森林組合や業界と話し合いたい

峰田民生課長　十二月早々に中島さんがやめることになり、時期が悪く二日間足寄、本別の応援を得た、し尿処理場は一日三〇キロなので足寄一二キロ、本別一二キロ、陸別六キロつつなので、このままでは三月末でかかるので現状止むを得ずクンネベツで深く堀つて除臭剤を入れ石灰で囲つた、生活保護は三十世帯、七十一名で八百万円きている、精薄者は六十三名、老人ホームへ二十八名が施設へ入つているが、精薄者の年間費用は一千八百万円となる

早坂議員　中標津や音別でも地場産業にテコ入れしており、他町でも一千万円出している、浄化センターは陸別だけまま子扱いではないか

杉田町長　地元業界から要望があればこんご検討したい

峰田産業課長　青空投棄は二カ月間でなくなる

渡辺議員　大樹町で割ばし工場を誘致して百名の従業員が二十六名しか得られなかつたというが、町が企業誘致した場合の労働力の見通しはどうか、上足寄線は四キロほどが昔のままですすまないが、改修計画はどうか、二四二号線の駐車禁止により駐車場を考えるべきではないか

杉田町長　従業員の確保は新規の余剰労働力は考えられないので、くる企業により婦人などの場合や内容による、道々上足寄線はウエンベツ橋から新規開さくとなるので陳情している、オンネナイ町道は四十九年度に五キロ改修の予定となつている、駐車場設置については空屋の調査をしておりでは釧鉄局にも陳情している

渡辺議員　オンネナイには排水もない

杉田町長　四十九、五十の二カ年で改修したい

渡辺議員　それでは中学校のところを通るので迷惑する、応急処置をして頂きたい

赤川議員　今冬の除雪計画はどうなつているか、共和橋の代替の見通しはどうか

荒木施設課長　除雪は前年並みにしたい、団体営の農道整備は四十八年から五十年のあいだに二、二キロを整備する、共和橋も入つている

このあと宮古議員から精薄施設、職員の定数増、陸小統合校舎グラウンドの護岸について、池尻議員から教育行政、町民対策について、鹿野議員から交通安全対策についての質問がありました。

補助は不当と監査を請求

北勝光生会をめぐつて

陸別町東一条通りの矢鋪正信氏（議員でなく一町民として）は十二月二十七日付で陸別町代表監査委員の吉田英一氏にたいして、地方自治法第二四二条による住民監査請求を申し立てました。

この請求の趣旨は、町が精薄者の収容施設を設置しようとする北勝光生会（代表杉田町長）に十万円の補助金を支出するのは不当な公金の支出となるので、これを是正するために必要な措置を講じてほしいというものです。

これによつて監査委員はこの十一日に矢鋪氏の出席を求めて陳述をきき監査に入つていますが、請求に理由があるとすれば杉田町長にたいして是正の勧告をおこなうことになりますが、監査の結果いかんが注目されています。

迎春　一九七三年
陸別町防犯協会
会長　渡辺平

陸別町衛生協会
会長　野村亮一

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド
敷物一式
マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口鑑寺前　T二四二八

家具　建材　アルミサッシ
既製家具から注文建具
住宅産業に奉仕する！
有限会社　桜井家具建具店
足寄町北五区　T二三六二　工場西五区